

■ご参考資料【印刷業界のニーズと装置搭載光源の比較】

印刷業界のニーズ		UV インクジェット印刷	
		ランプ方式	LED 方式
印刷対象	特殊印刷物 (凸凹形状、金属、プラスチック、木材など)	○ 微小なインクを非接触にダイレクトで塗布することにより、 多様な対象への印刷が可能	
	弱熱性印刷物 樹脂フィルム(PET)、樹脂薄板(アクリル等)など	× ブロード波長の熱エネルギーにより、ダメージが発生	○ 単一波長のため余分な熱エネルギーが発生せず、ダメージレス
生産性	多品種少量印刷	○ デジタル印刷のため、版が不要	
	インク定着時間の短縮	○ UVによる瞬時インク硬化(定着)	
	ダウンタイム抑制	× 立ち上がり、立ち下がりが遅く アイドリング時間が必要	○ 瞬時点灯・消灯が可能
環境対応	装置のコンパクト化	× 排気ダクト・シャッターが必要 灯具・電源が大きい	○ オゾンレスのため排気ダクト不要 シャッターが不要 灯具・電源が従来ランプ方式に比べ、小型
	有害物質の抑制	× 水銀、オゾンあり	○ 発生なし
	低消費電力化	×	○ 従来ランプ比 約 70%
	光源の長寿命化	× 1,000 時間	○ 10,000 時間

以上